

結婚に関する最近のお金事情について

結婚に関する費用について、ここ10年ほどの間にどのように変化しているのでしょうか。結婚に関する最近のお金事情など、ブライダル情報誌の調査を中心に調べてみました。

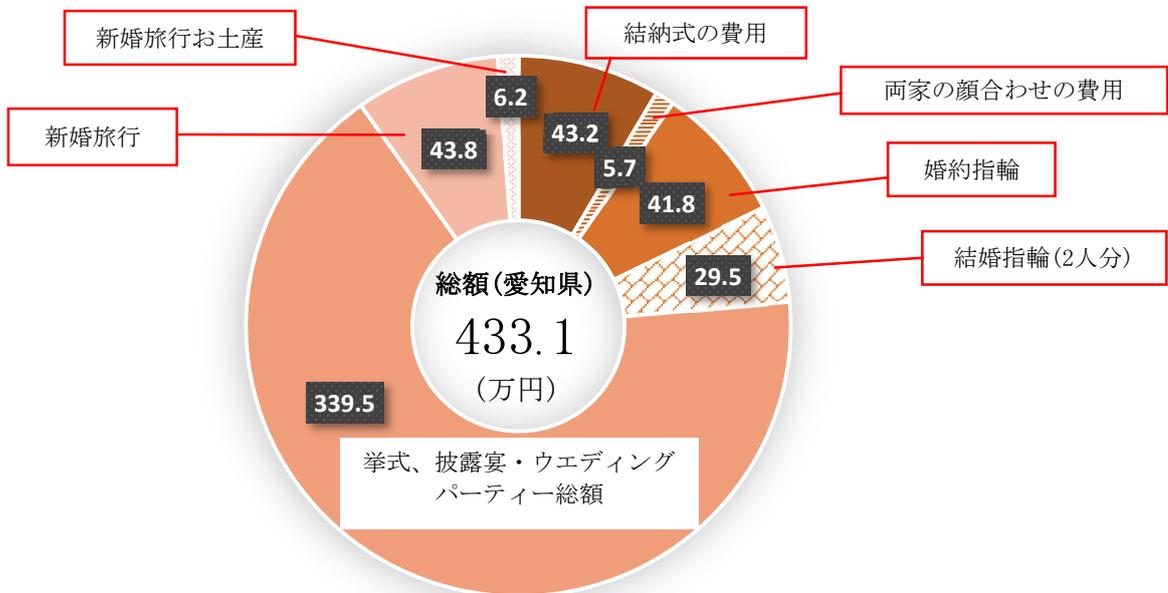
1 婚姻にかかるお金について

(1) 結納・婚約から新婚旅行までにかかる費用

結婚するときに、『どんなこと』に『いくら』お金がかかっているのかを、ブライダル情報誌の調査結果からみると、「結納式の費用」「両家の顔合わせの費用」「婚約指輪」「結婚指輪(2人分)」「挙式、披露宴・ウェディングパーティー」「新婚旅行」「新婚旅行お土産」の項目があります。

2023年調査(2022年4月～2023年3月)によると、愛知県では「挙式、披露宴・ウェディングパーティー」が最も金額が多い項目となっています(図表1)。

図表1 結納・婚約から新婚旅行までにかかった費用総額(愛知県:推計値)



※項目別平均額は実施した人の平均額であり、各項目の平均額の合計は総額と異なる。

資料: ゼクシィ結婚トレンド調査(株式会社リクルート)2023

(2) 挙式、披露宴・ウェディングパーティーにかかる費用

一連の費用の中で最もお金がかかる「挙式、披露宴・ウェディングパーティー」の内訳の各項目について、2010年調査と2023年調査の金額(平均)の上位5項目についてみると、2010年調査の愛知県では、①新婦の衣装、②挙式料、③スナップ写真費用、④会場装花、⑤ビデオ撮影費用の順となっています。

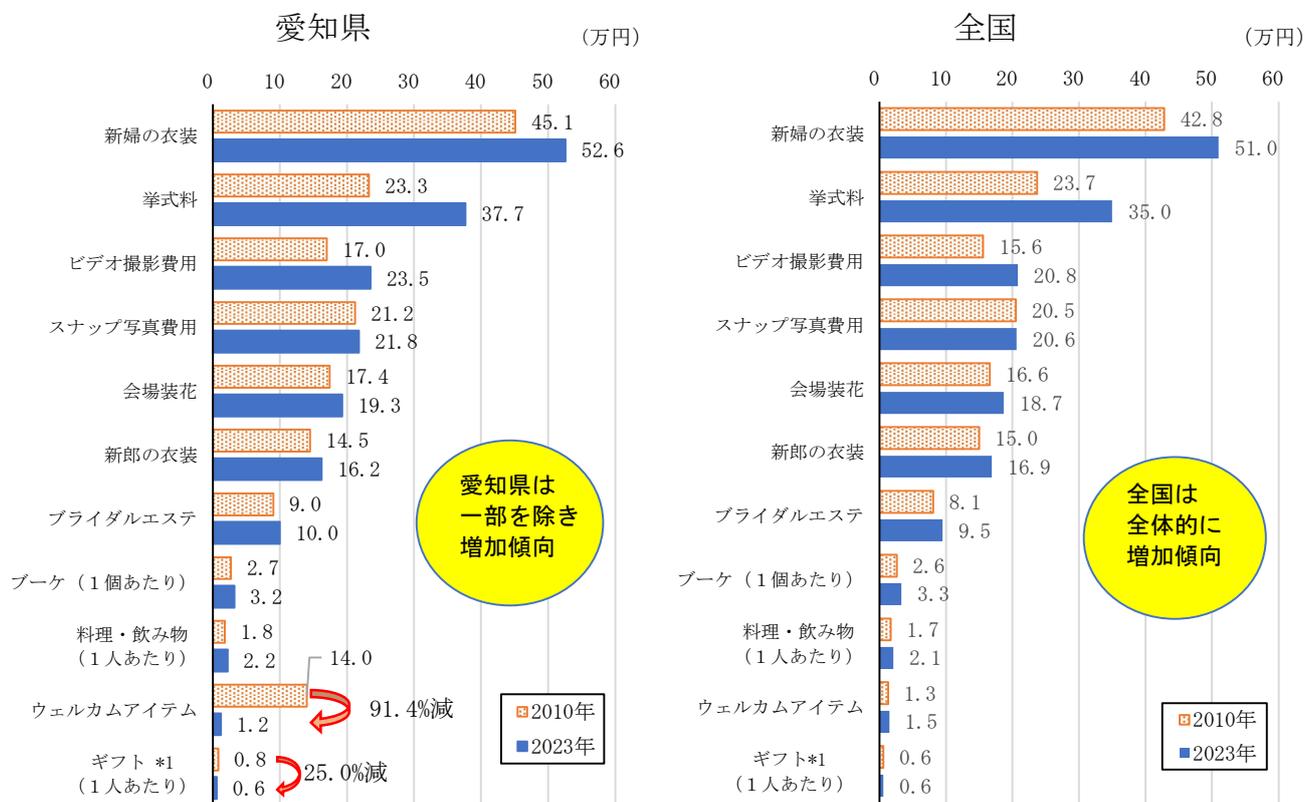
それに対して、2023年調査の愛知県では、①新婦の衣装、②挙式料、③ビデオ撮影費用、④スナップ写真費用、⑤会場装花の順となっており、1位と2位は2010年調査と同一の順位となっています。なお、全国(推計値)でも愛知県と全く同じ結果となっています。

次に、2010年調査と2023年調査の金額(平均)の増減率についてみると、全国(推計値)では変化のないギフト(1人あたり)を除いてすべて増加しているのに対して、愛知県ではウェルカムアイテムが91.4%減の1.2万円、ギフト(1人あたり)が25.0%減の0.6万円と2項目に減少がみられますが、この2項目は全国(推計値)の平均

額とほぼ同じです(図表2)。

また、総額を比較してみると、愛知県では 2.7%増、全国(推計値)では 0.4%増といずれも増加しています(図表3)。

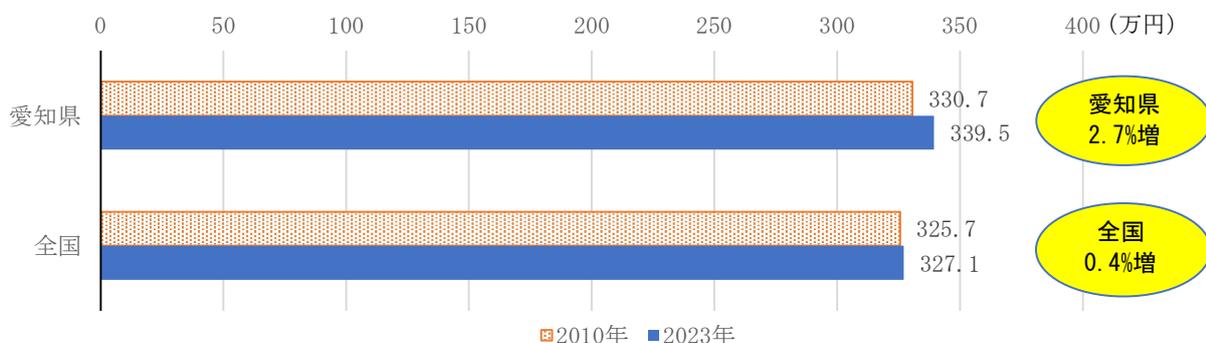
図表2 挙式、披露宴・ウェディングパーティー費用等内訳



※1 ギフトには「引出物」「引菓子」を含む。各サンプル毎に、ギフト総額をギフト用意数で割って算出。

資料：ゼクシィ結婚トレンド調査(株式会社リクルート) 2010年・2023年

図表3 挙式、披露宴・ウェディングパーティー費用等総額



資料：ゼクシィ結婚トレンド調査(株式会社リクルート) 2010年・2023年

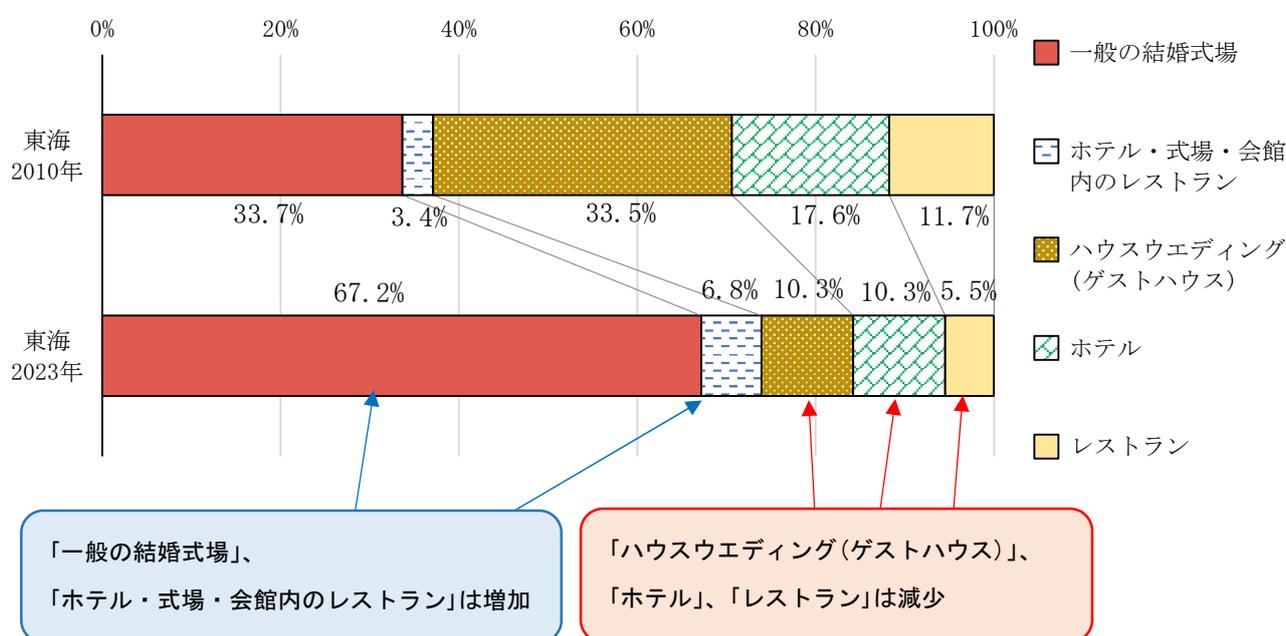
(3) 会場別にみた挙式、披露宴・ウェディングパーティーの費用

「挙式、披露宴・ウェディングパーティー」の会場別費用について、2010年調査と2023年調査の東海地方を比較してみました。

2023年調査の利用割合をみると2010年調査に比べ、一般の結婚式場が33.5ポイント増の67.2%、ホテル・式場・会場内のレストランが3.4ポイント増の6.8%に増加しているのに対して、ハウスウェディング(ゲストハウス)が23.2ポイント減の10.3%に減少したのをはじめ、他の会場がいずれも減少しました(図表4)。

なお、総額の順位(2023年調査)は、①ハウスウェディング(ゲストハウス)、②一般の結婚式場、③ホテル、④ホテル・式場・会場内のレストラン、⑤レストランの順となっており、1位から3位までは2010年調査と同一順位となっています(図表5)。

図表4 挙式、披露宴・ウェディングパーティー会場別割合



資料：ゼクシィ結婚トレンド調査(株式会社リクルート) 2010年・2023年

図表5 会場別 挙式、披露宴・ウェディングパーティー費用総額

2010年 (万円)			2023年 (万円)		
順位	会場	金額	順位	会場	金額
1	ハウスウェディング(ゲストハウス)	377.6	1	ハウスウェディング(ゲストハウス)	392.7
2	一般の結婚式場	343.8	2	一般の結婚式場	346.6
3	ホテル	338.5	3	ホテル	313.7
4	レストラン	262.6	4	ホテル・式場・会場内のレストラン	308.6
5	ホテル・式場・会場内のレストラン	229.5	5	レストラン	294.1

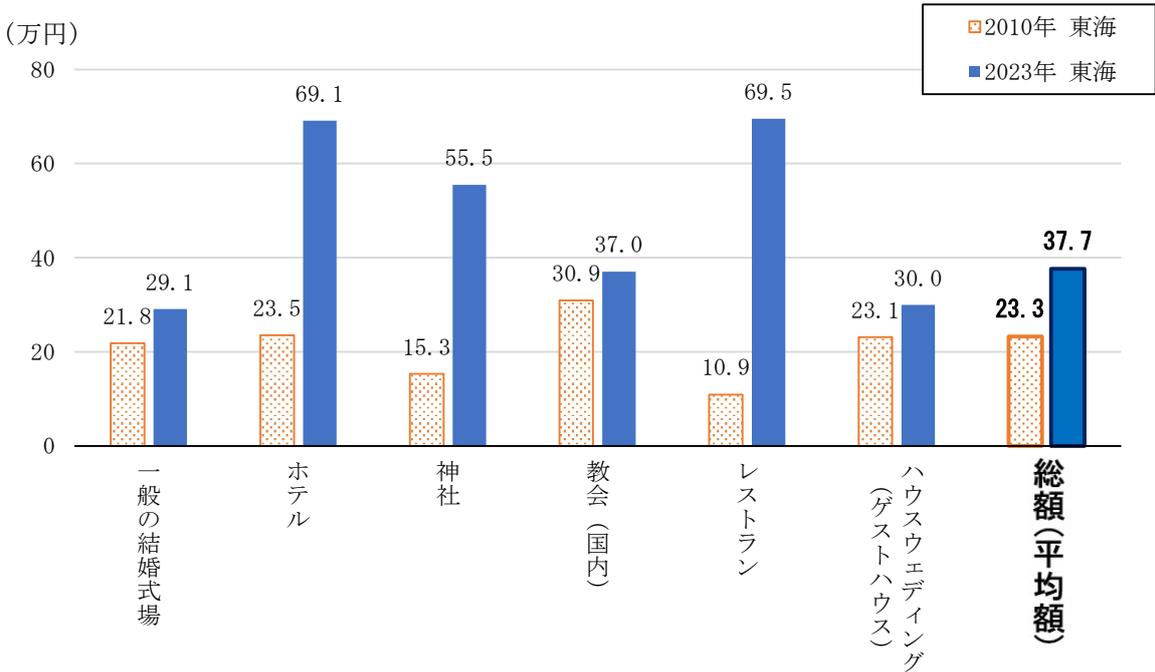
資料：ゼクシィ結婚トレンド調査(株式会社リクルート) 2010年・2023年

(4) 会場別の挙式料

挙式料のみの総額(平均額)では、2010年調査の23.3万円に対して2023年調査では61.8%増の37.7万円となっており、総額の順位(2023年調査)は、①レストラン、②ホテル、③神社、④教会(国内)、⑤ハウスウェディング(ゲストハウス)、⑥一般の結婚式場の順となっており、一般の結婚式場は順位が2010年調査の4位から6位に下がりました(図表6)。

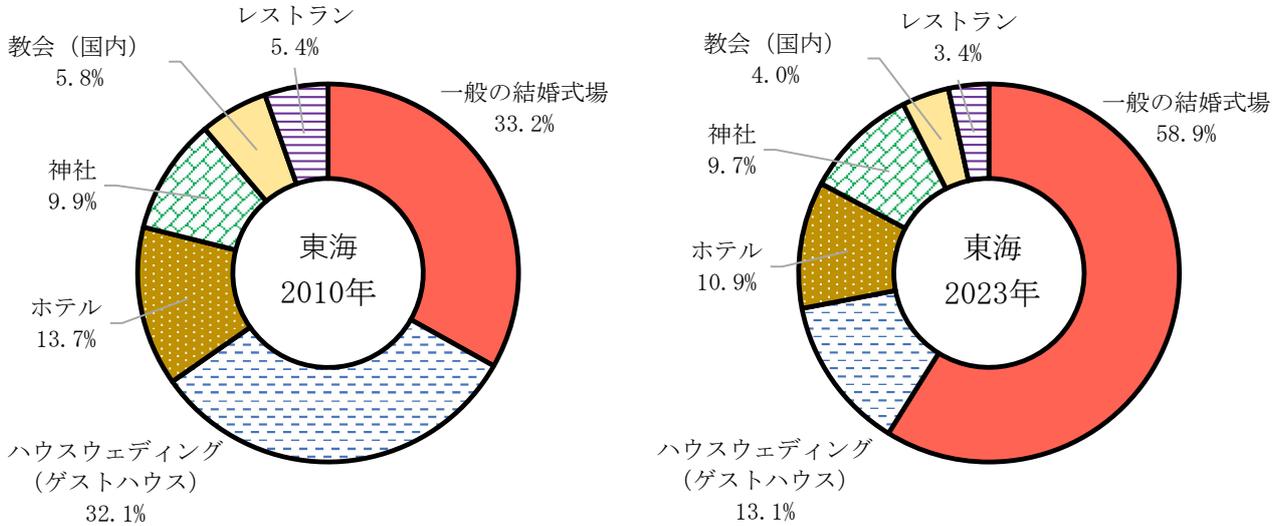
なお、2023年調査の利用割合をみると2010年調査に比べ、ハウスウェディング(ゲストハウス)が19.0ポイント減の13.1%に減少したのをはじめ、他の会場がいずれも減少しているのに対して、一般の結婚式場のみ25.7ポイント増の58.9%に増加しています(図表7)。

図表6 会場別 挙式費用総額



資料：ゼクシィ結婚トレンド調査(株式会社リクルート) 2010年・2023年

図表7 挙式会場別割合



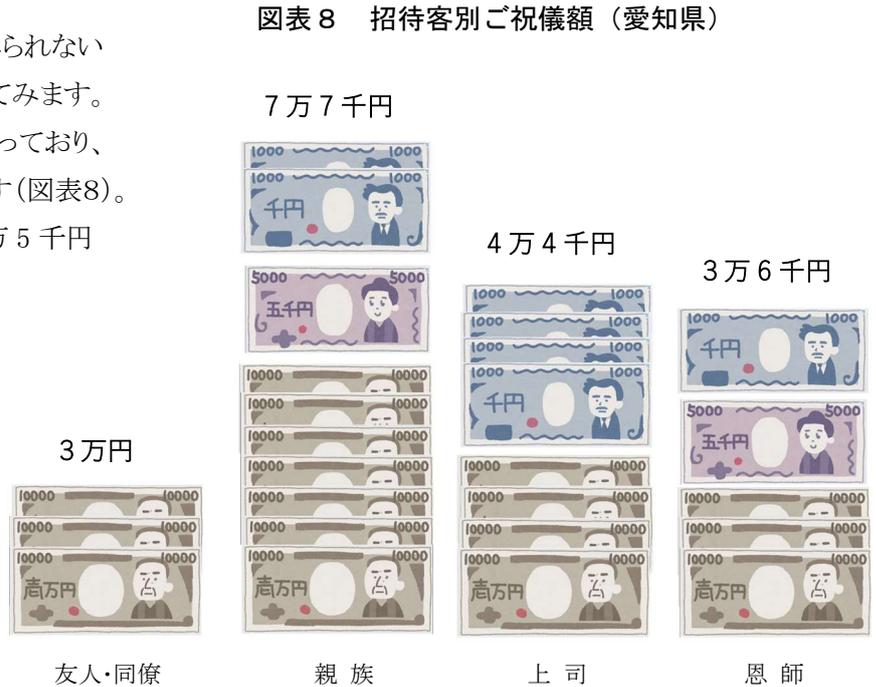
資料：ゼクシィ結婚トレンド調査(株式会社リクルート) 2010年・2023年

(5) ご祝儀の相場

ご祝儀は、年次推移で大きな変化がみられないため、2023年調査の愛知県の結果をみます。

招待客別の平均額は右図のとおりとなっており、全国でも愛知県とほぼ同額となっています(図表8)。

なお、ご祝儀の総額(平均額)は179万5千円でした。

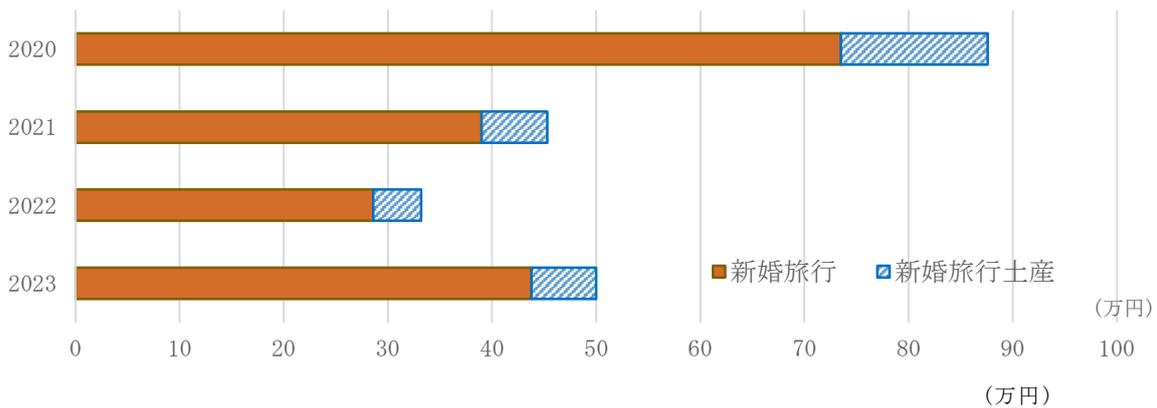


資料: ゼクシィ結婚トレンド調査(株式会社リクルート)2023

(6) 新婚旅行と新婚旅行土産にかかる費用

2019年調査までは年次推移に対して大きな変化はなく、合計額(平均)で80万円~90万円を推移していましたが、コロナ禍の影響で2021年調査では前年比48.3%減の45.3万円、2022年調査では同26.7%減の33.2万円と2年連続で低下しました。2023年調査では同50.6%増の50.0万円まで上昇し、コロナ禍前には及びませんが、回復の動きがみられました(図表9)。

図表9 新婚旅行と新婚旅行土産



	2020	2021	2022	2023
新婚旅行	73.5	39.0	28.6	43.8
新婚旅行土産	14.1	6.3	4.6	6.2

資料: ゼクシィ結婚トレンド調査(株式会社リクルート)2020・2021・2022・2023年

2 結婚式場業の変化

「経済センサス・活動調査」(経済産業省)によると、結婚式場業については、「事業所数」「従業員数」「売上(収入)金額」「年間取扱件数」などの項目があります。

2012(平成 24)年調査と 2021(令和3)年調査とで比較すると、愛知県では、事業所数が 1.2%増、従業員数が 2.4%減、売上(収入)金額は 28.6%減、年間取扱件数は 26.1%減となっています。

それに対して、全国では、事業所数が 11.2%増、従業員数が 16.3%増、売上(収入)金額は 37.5%減、年間取扱件数は 44.7%減となっており、愛知県・全国ともに売上(収入)金額と年間取扱件数が減少しています。また、増減の割合をみると、事業所数では全国が愛知県より上回って増加していますが、1事業所あたりの売上(収入)金額と年間取扱件数では、全国が愛知県より下回って減少しています(図表10)。

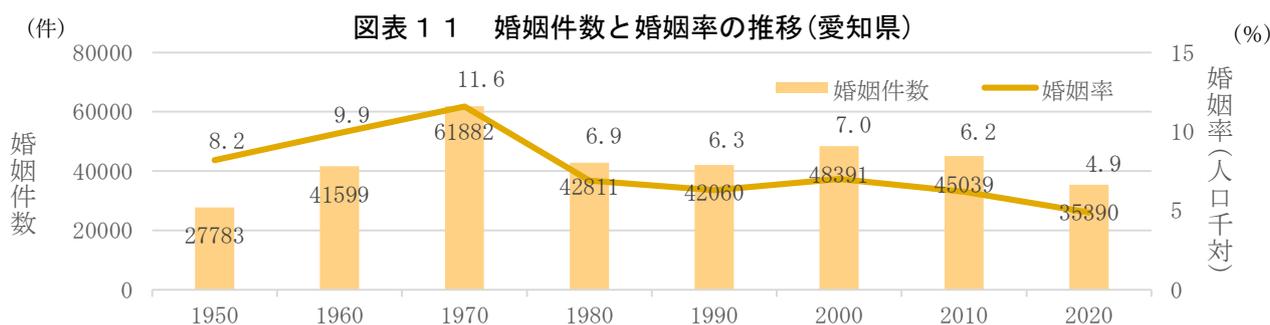
図表 10 結婚式場業の概況

愛知県	2012	2021	(対2012比)	全国	2012	2021	(対2012比)
	(H24)	(R3)			(H24)	(R3)	
事業所数	82	83	1.2%	事業所数	975	1,084	11.2%
従業員数_男女計 (人)	4,022	3,927	-2.4%	従業員数_男女計 (人)	36,123	42,021	16.3%
売上(収入)金額 (百万円)	43,960	31,380	-28.6%	売上(収入)金額 (百万円)	477,842	298,491	-37.5%
1事業所あたり売上	536	378	-29.5%	1事業所あたり売上	490	275	-43.8%
結婚式・披露宴の年間取扱件数 (件)	14,193	10,490	-26.1%	結婚式・披露宴の年間取扱件数 (件)	171,151	94,609	-44.7%
1事業所あたり件数	173	126	-27.0%	1事業所あたり件数	176	87	-50.3%

資料： 経済センサス・活動調査 (経済産業省) 2012(H24)年・2021(R3)年

3 婚姻件数と婚姻率の推移について (参考)

愛知県の婚姻件数と婚姻率の推移についてみてみると、1970 年をピークに減少傾向となっています(図表11)。



資料：厚生労働省「令和4年(2022)人口動態統計」

〇おわりに

結婚にかかわるお金について 10 年程度の期間に生じた変化をみてきました。

挙式等にかかる費用の総額については、全国に比べて愛知県が増加しており、会場で一番人気があるのは一般の結婚式場という結果でした。

また、結婚式場業については、婚姻件数と婚姻率の減少とともに、売上金額と年間取扱件数のいずれも減少傾向がみられました。